

公益財団法人
九州先端科学技術研究所

Institute of Systems,
Information Technologies
and Nanotechnologies

自治体標準オープンデータセットを 一緒に見てみよう

Open Source Conference 2023 Fukuoka, 2023/12/09

公益財団法人九州先端科学技術研究所
オープンイノベーション・ラボ
シニア・イノベーション・アーキテクト
吉良 幸生

吉良 幸生 / Sachio KIRA

公益財団法人九州先端科学技術研究所 (ISIT)

オープンイノベーション・ラボ

シニア・イノベーション・アーキテクト

<https://www.isit.or.jp/>

<https://www.bodik.jp/>

2019年5月からBODIKチームでオープンデータ関連事業に従事。

OSC2007福岡から現地スタッフとして参加しています

趣味はまち歩き

クリフトンストレングス 上位の資質

自我・分析思考・最上志向・内省・目標志向



誰でも簡単にオープンデータの利活用ができる社会を実現するために、データ公開から活用までを支援

会議の参加メンバーを九州の都道府県に拡大、中核市や積極的な自治体の参加も働きかける。BODIK ODCSユーザー向けに、ノウハウを共有するようなコミュニティの構築も行う。

九州オープンデータ推進会議

自治体のオープンデータ担当

定期的なデータの整形と登録の作業

BODIK ODCS

地方自治体がオープンデータを公開するためのカタログサイトを無償で提供。



全国のオープンデータサイトからデータ収集

Harvesting



BODIK ODCS以外のオープンデータカタログサイト

Harvesting

クロール



BODIK API

Location API、都市OS接続用のAPIなど、用途に応じたAPIを整備する。

WAPI

全国のオープンデータ化の情報
オープンデータのワンストップでの提供

Web



オープンデータ検索

BODIK APPS

自治体向けのオープンデータアプリの開発、運用を行う事で、自治体のオープンデータの取組みを促進する。



オープンデータアプリケーション

サービス

サービス



市民

サービス

有償サービス

自治体向けの研修メニュー、オープンデータサイト構築サービス、オープンデータ移行サービスなど、自治体向けのサービスメニューを整備。

自治体支援サービス

BODIK Utility

自治体がオープンデータを公開する時に役に立つツールを提供する。フォーマットのチェックを行うValidatorや、緯度経度を付与するGeocorderなど

リンク



BODIK IoT

カメラの映像をAIで認識し、個人が特定できない情報にして、オープンデータとして公開する。



FAPI

スマートシティ実証

スマートシティ、Society5.0の実現を目指し、福岡市、九州エリアの都道府県と連携しながら、データプラットフォームの実証プロジェクトに参画する。



BigData & OpenData Initiative in Kyushu

本日の話題

オープンデータ

自治体標準オープンデータセット

オープンデータに取り組む意義

国においてはオープンデータに取り組む意義を、「オープンデータ基本指針」(平成29年5月30日高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部・官民データ活用推進戦略会議決定。令和3年6月15日改定)にて、以下のとおり整理しています。

- 1 国民参加・官民協働の推進を通じた諸課題の解決、経済の活性化
- 2 行政の高度化・効率化
- 3 透明性・信頼性の向上

オープンデータの定義

「オープンデータ基本指針」において、オープンデータは以下のとおり定義されています。

国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）できるよう、次のいずれの項目にも該当する形で公開されたデータをオープンデータと定義する。

- 営利目的、非営利目的を問わず**二次利用可能なルールが適用**されたもの
- **機械判読**に適したもの
- **無償**で利用できるもの

ホームページでの公開との違い

ホームページにデータを公開するだけではオープンデータにはなりません。

ホームページに公開するだけでは、著作権制度の観点から、利用が制限されるデータもあります。

オープンデータとするためには、公開したデータを誰もが自由に利用できるようなルールを明確に設定すること、即ち、自由に二次利用可能なルールを適用することが必要です。

ホームページ等で
データを公開する

+

自由に二次利用可能な
ルールを適用する



オープンデータ
となる

オープンデータはどこにある？

オープンデータはどこにある？



e-Govポータル



e-Stat 政府統計の総合窓口



RESAS 地域経済分析システム



gBizINFO



国土数値情報ダウンロードサイト



気象庁 数値データページリンク集



G空間情報センター



データカタログ横断検索システム



Dataset Search - Google



BODIK ODCS

BODIK ODCSは、地方自治体がオープンデータを公開するためのデータカタログサイトを無償で提供するクラウドサービスで、278自治体が利用中です。

ポータルサイト、データカタログサイト (CKAN)、オープンデータマップで構成されています。



BODIKオープンデータモニター

BODIK オープンデータモニター(ODM) は、国内の自治体が公開しているオープンデータを横断的に検索することができます。

1,056団体、57,349データセットを掲載 (2023年12月9日) 現在、新ODMを開発検証中です。



各自治体のサイト

各自治体では、独自のデータカタログサイトや、自治体の公式サイト上でオープンデータを公開しています。広域や都道府県でまとまってサイト運営する例もあります。

上の画面イメージは、福岡市のオープンデータサイトのもの。

自治体標準オープンデータセット

自治体標準オープンデータセット

「自治体標準オープンデータセット（旧：推奨データセット）」は、オープンデータの公開とその利活用を促進することを目的とし、政府として公開を推奨するデータと、公開するデータの作成にあたり準拠すべきルールやフォーマット等を取りまとめたものです。

デジタル庁で定義書ほか詳細が提供されています。

https://www.digital.go.jp/resources/open_data/municipal-standard-data-set-test/

従来の推奨データセットの改訂分

1. 公共施設一覧
2. 文化財一覧
3. 指定緊急避難場所一覧
4. 地域・年齢別人口
5. 子育て施設一覧
6. オープンデータ一覧
7. 公衆無線LANアクセスポイント一覧
8. AED設置箇所一覧
9. 介護サービス事業所一覧
10. 医療機関一覧
11. 観光施設一覧
12. イベント一覧
13. 公衆トイレ一覧
14. 消防水利施設一覧
15. 食品等営業許可・届出一覧
16. 学校給食献立情報
17. 小中学校通学区域情報
18. ボーリング柱状図等
19. 都市計画基礎調査情報
20. 調達情報
21. 標準的なバス情報フォーマット
22. 支援制度（給付金）情報

新データセット（データモデル型）は略

No	旧No	データセット名	初めて取り組む基礎自治体	基礎自治体	一部事務組合等*1	都道府県	国	民間
1	12	公共施設一覧	○	○		○	○	
2	4	文化財一覧	○	○		○	○	○
3	10	指定緊急避難場所一覧	○	○		○	○	
4	11	地域・年齢別人口	○	○		○	○	
5	13	子育て施設一覧	○	○		○	○	○
6	14	オープンデータ一覧	○	○	○	○	○	○
7	7	公衆無線LANアクセスポイント一覧		○	○	○	○	○
8	1	AED設置箇所一覧		○		○		○
9	2	介護サービス事業所一覧		○	○	○	○	
10	3	医療機関一覧		○		○		
11	5	観光施設一覧		○	○	○	○	○
12	6	イベント一覧		○	○	○	○	○
13	8	公衆トイレ一覧		○	○	○	○	○
14	9	消防水利施設一覧		○	○			
15	A1	食品等営業許可・届出一覧		○		○		
16	A2	学校給食献立情報		○	○	○	○	○
17	A3	小中学校通学区域情報		○				
18	B1	ポーリング柱状図		○		○	○	○
19	B2	都市計画基礎調査情報		○				
20	B3	調達情報		○	○	○	○	
21	B4	標準的なバス情報フォーマット(ある場合)	○	○				○
22	B5	支援制度情報(給付金)	○	○	○	○	○	○

*1 一部事務組合等(広域連合など含む)については様々な連携ケースが存在しているため、支援制度(福祉)、公衆無線LAN・観光施設・イベント・トイレ(観光振興)、消防水利(消防)、学校給食(給食)、オープンデータ一覧・調達情報(一部事務組合自体の取り組み)など、総務省で想定している広域行政を参考に選択している。
https://www.soumu.go.jp/main_content/000658630.pdf

出典：自治体標準オープンデータセット(旧推奨データセット)について(2023年3月31日更新)
https://www.digital.go.jp/resources/open_data/municipal-standard-data-set-test/より作成

勤務先、通学先、居住地ではどのような情報が公開されていますか？

[BODIK ODCS](#)で検索してみる

タグ 「自治体標準オープンデータセット」 「推奨データセット」

[BODIKオープンデータモニター](#)で検索してみる

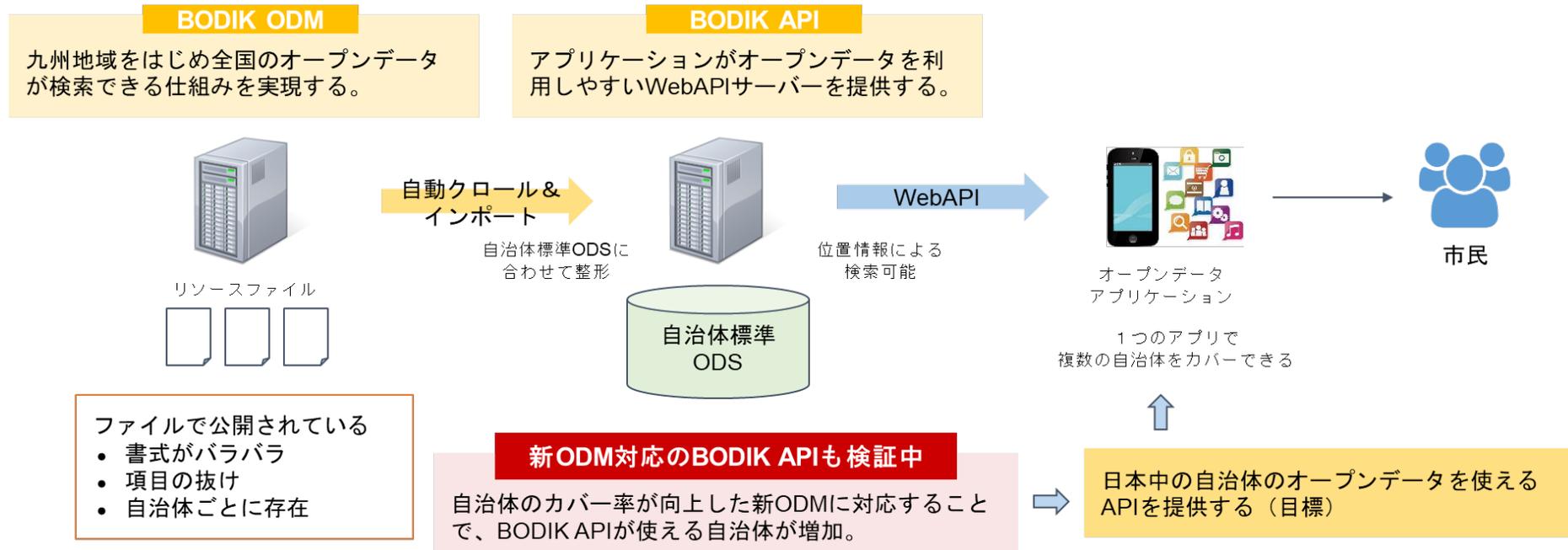
タグ 「自治体標準オープンデータセット」 「推奨データセット」

BODIK APIを使ってみる

[【2コマ連続・ハンズオン】BODIK APIの使い方（Javascript編）](#)（15:15～）がオススメ

Web APIで自治体標準オープンデータセットを利用する

BODIK オープンデータモニターに集約したデータの中から、自治体標準オープンデータセットに該当するデータファイルをデータベースに格納し、Web APIを提供しています。



ご興味ある方は、

[【2コマ連続・ハンズオン】BODIK APIの使い方 \(Javascript編\) \(15:15～\)](#) がオススメ

自治体に、掲載されているデータセットについてのリクエストや、新たなデータセットの掲載を要望できます。

福岡市の公共データを随時公開するオープンデータサイトです。

Open Data of FUKUOKA CITY
福岡市オープンデータ

- オープンデータとは？
- データカタログ
- ご要望
- 利用規約
- 活用事例
- 今週のデータカタログランキング
- メルマガデータセット
- 新着情報
- データカタログ検索
- データカタログとは？

ご要望 Mail Magazine Data Set

本サイトに掲載されているデータセットに対してのご要望や、掲載して欲しいデータセット、またはQ&Aに掲載して欲しいお問い合わせがありましたら、以下のご要望フォームよりご連絡ください。
※原則としてご要望はお受けするのみで、その結果についてはご連絡は致しませんので、予めご了承ください。

ご要望フォーム

ご要望内容

プライバシーポリシーに同意する

クリア 確認

オープンデータの取り組みに役立つツールを提供しています。
どなたでもご利用いただけます。 <https://utility.bodik.jp/>

The screenshot displays the BODIK Utility website interface, organized into several functional sections:

- BODIK Utility** (Header)
- 自治体標準オープンデータセット (正式版)** (Official Standard Open Data Set): Includes buttons for **バリデータ** (Validator), **フォーマッタ** (Formatter), **簡易エディタ** (Simple Editor), and **住所正規化 (試作)** (Address Normalization (Prototype)).
- 推奨データセット** (Recommended Data Set): Includes buttons for **バリデータ** (Validator), **フォーマッタ** (Formatter), and **簡易エディタ** (Simple Editor).
- データ作成支援** (Data Creation Support): Includes buttons for **ジオコーダ** (Geocoder), **フォトマップ** (Photo Map), **マップ** (Map), and **PDF表変換** (PDF Table Conversion). The **ジオコーダ** button is highlighted with an orange border.
- データ移行** (Data Migration): Includes buttons for **スクレイパ** (Scraper) and **インポータ** (Importer).
- CKAN**: Includes buttons for **ODCSビューワ** (ODCS Viewer), **ODMビューワ** (ODM Viewer), and **コンポーザ** (Composer).

An orange callout box points to the **ジオコーダ** button with the following text:

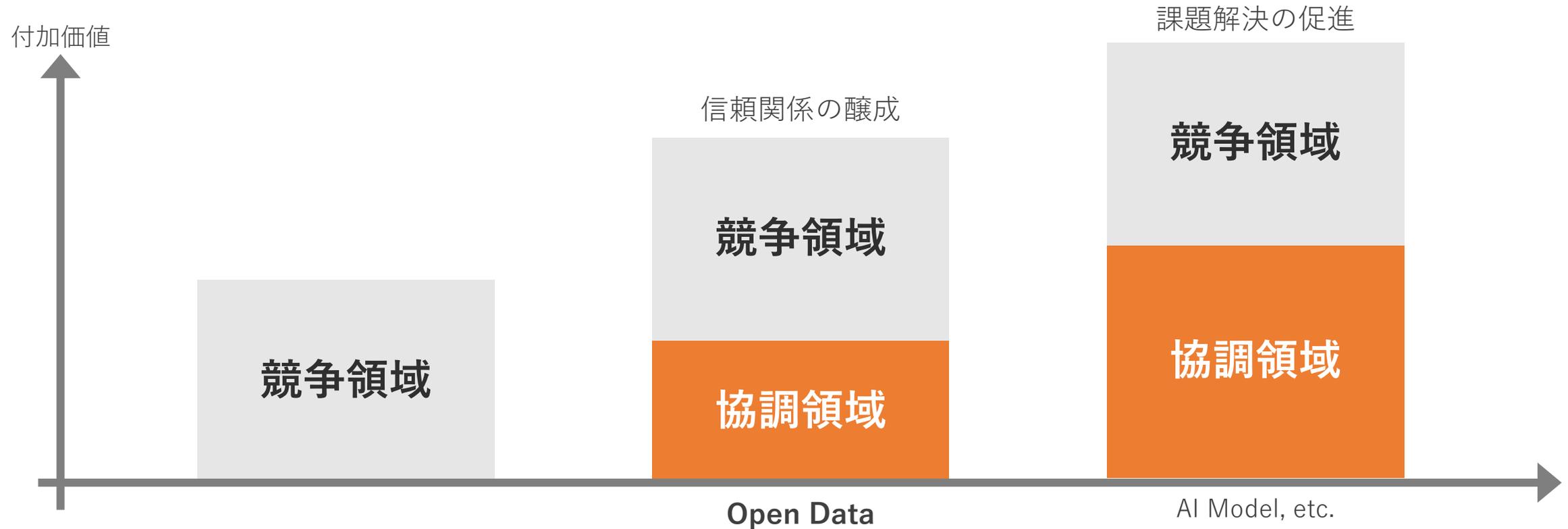
ジオコーダ
住所から井戸・経度を求め付与します。
位置は地図を見ながら調整できます。

BODIK Utilityは、公益財団法人九州先端科学技術研究所が提供しています。
BODIK Utilityの最新情報や使い方については、[BODIKウェブサイトのブログ記事](#)をご確認ください。お問い合わせは、[BODIKウェブサイト](#)からお願いいたします。

経済活性化や地域問題解決への貢献が期待される一方、課題もあり。

- デジタル庁から定義ほか公開されたのが2023年3月末で、まだまだ各自治体の**データ公開が進んでいない**。
- 公開されているデータも、**自治体により更新頻度や粒度が異なる**（自治体標準オープンデータセット以前の推奨データセットから変換する手もあるが）。特に小規模自治体は取り組みが遅れているところがある。
- 待っていても公開状況は改善しない。データを利用する側も行動する必要あり（自治体にリクエストする、シビックテックに参画するなど）。自治体がオープンデータにかけるリソースは限られている。

人口減少社会において、一人ひとりが多様な幸せを感じることができるデジタル社会を実現するためには、業務の効率化を図るとともに、限られた労働力でより多くの付加価値を生み出していく必要があります、そのためには協調領域を拡大していく必要がある。



オープンデータを公開することで、データが公共財となり、自由に使えるデータが増えることで、使う側はデータ作成の費用が削減できる。

オープンデータのフォーマットを揃えて公開することで、使う側のデータ整形のコストが削減できる。

- 何を学びましたか？
- それがなぜ私にとって重要ですか？
- 何に役立ちますか？